

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	24	担当部課名称	保健所地域保健課
事務事業名	在宅医療・介護推進事業		
見直しのタイトル	地域リーダー会議の見直し		
添付資料 有無	有（事業体系図）		

1 現状における課題

- ・在宅医療・介護推進事業としては、医療介護連携推進部会をはじめ、ワーキンググループでの各検討グループ会議及び情報交換会、地域リーダー会議や多職種連携研修会、同行研修会を開催するほか、広報紙「えぼ丸通信」の発行、依頼講座や住民向け研修会の開催による周知を行っている。
- ・事業は寒川町と協同で行っており、寒川町高齢介護課、健康・スポーツ課と、事業と関わりのある市高齢福祉介護課の担当者が出席する連絡会議を月1回開催している。
- ・平成29年6月には、「在宅ケア相談窓口」を設置し、市民、町民及び医療・介護従事者からの相談を受け付けている。
- ・以上の業務を、正規職員1名、再任用職員1名、寒川町からの派遣職員（週2～3日勤務）で担当しているが、会議等の開催回数が多く、関係機関との調整に相応の時間を要している。
- ・会議等には茅ヶ崎医師会、茅ヶ崎歯科医師会、茅ヶ崎寒川薬剤師会（以下「三師会」という。）、市町内の医療機関や介護施設等から出席いただいているが、複数の会議に出席する方も多く、本務で多忙な中、業務の負担になっているおそれがある。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

年4回開催を予定している地域リーダー会議（主に多職種連携研修会の企画を行う専門職会議）について、開催回数の減または他の会議等との統合を図る。

【具体的内容】

次の工程を踏まえた後、次年度からの実施を目指す。

- ・地域リーダー会議及び他の会議等の内容の確認
- ・会議回数減または他の会議等との統合の可能性の検討
- ・高齢福祉介護課及び寒川町との調整、検討
- ・地域リーダー会議及び他の会議等での検討

3 改善により期待できる効果

【人件費】

- ・事業に従事する職員の時間外勤務数の削減

【事業費】

- ・会議出席者への報償費の支出額の削減

（参考）今年度予定 開催予定回数4回×出席者8名（支出対象者）×10,000円
＝320,000円

【出席者】

- ・出席に係る負担の軽減

4 実施スケジュール（概要）

6月 地域リーダー会議及び他の会議等の内容の確認、会議回数の減または他の会議等との統合の可能性の検討

7月 高齢福祉介護課及び寒川町との調整、検討

8月～11月 地域リーダー会議及び他の会議等での検討

※検討結果として開催回数の減または他の会議等との統合が決定した場合、早ければ今年度から実施する。

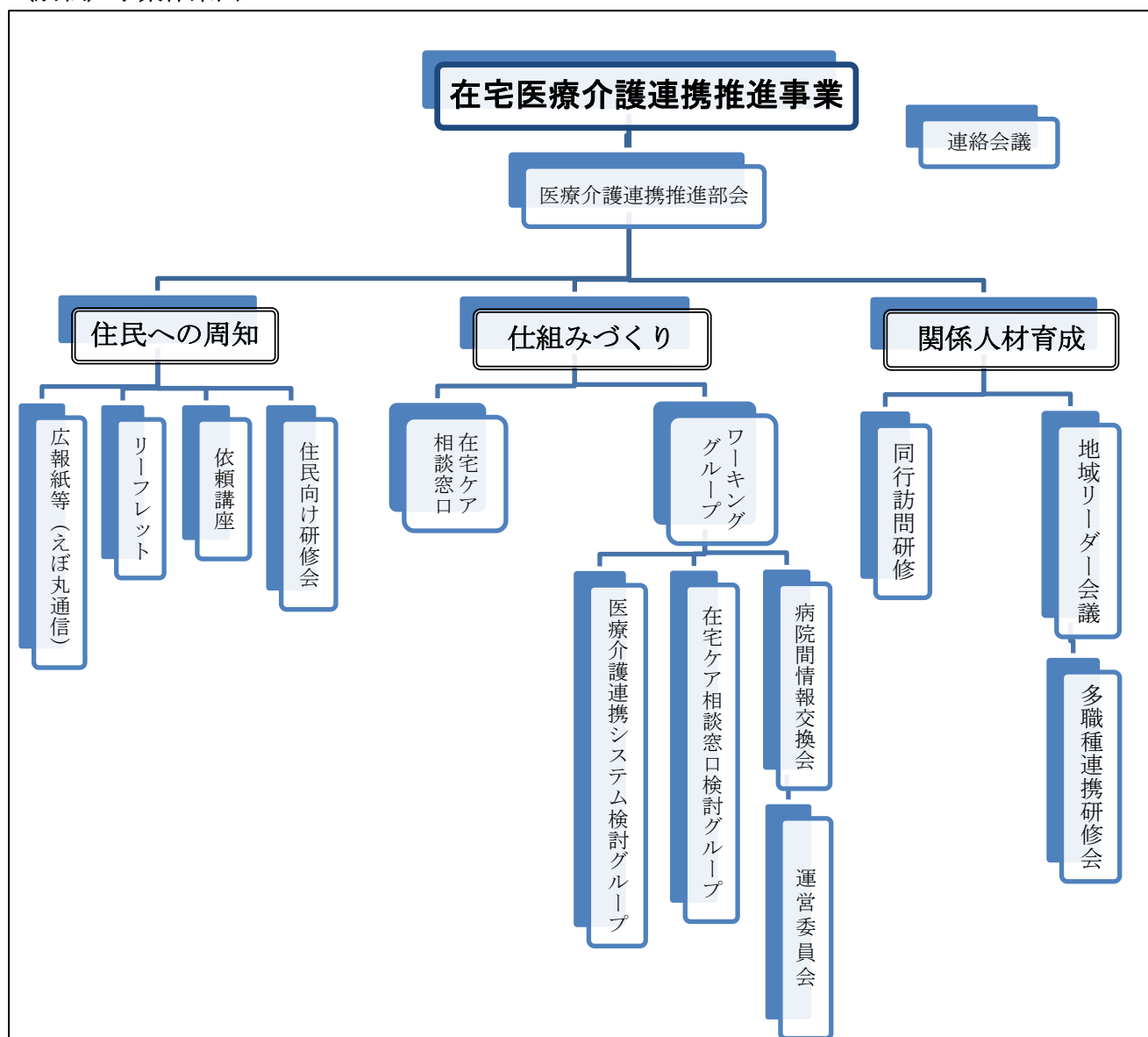
5 実施結果の振り返り

会議の内容を確認し、まずは他の会議等との統合が可能か、市高齢福祉介護課及び寒川町の担当者と協議を行い、ワーキンググループの会議等で取り扱うことができないか検討したが、新たに作成する多職種連携ガイドラインや入退院支援ガイドブックの作成に向けた協議に時間を要し、地域リーダー会議の協議内容を併せて取り扱うことができなかった。

また、年4回を予定していた開催回数については、多職種連携研修会を年3回開催することから、その振り返り及び次回研修会の内容の協議に3回、年間の振り返り及び次年度の研修内容の協議に1回を費やし、開催回数を減とすることはできなかった。

なお、多職種連携研修会のアンケート結果を踏まえ、研修参加者全員（おおむね200～300名）に配布していた修了証について、次年度から配布を見合わせることにし、人件費及び消耗品費等の削減を図ることができた。

(別紙) 事業体系図



* 上記枠組み以外に、地域医療福祉連携懇談会（高齢福祉介護課単独）を実施する。